

北限のサンゴに出会える 海中のジオ。

串本海中公園水族館元館長
宇井晋介さん
(ういしんすけ)



串本海中公園は、1970年7月、日本で最初に指定された海中公園地区なんです。

☆世界最北の大サンゴ群生地

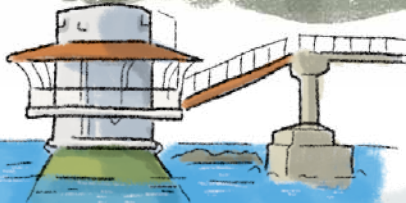
串本沿岸海域には、大規模で多様性の高いサンゴ群集が生息しています。特に、串本海中公園周辺で見られるテーブルサンゴ(クシハダミドリイシ)の群生は、群生地としては世界で最北に位置し、ラムサール条約に登録されています。

ウミガメに
出会えることも！



海中展望塔

沖合140m、水深6.3mの海底を気圧式で覗く事ができる展望塔。これまでに270種以上の魚が観察されており、最も多い時では70種以上の魚が一度に観察されたこともある。イソギンチャクとたわもれるクマノミにも出会える。



水中トンネル

1250トンの水槽にサメやクロマグロなど大型の魚が泳ぎ回る長さ24mの水中トンネルはまるで水中を歩いているような頭の上を通るサメの姿にギョッ!



窓の外には色とりどりの魚たちが泳いでいる!

WAKAYAMA GEO!

南紀熊野ジオパーク

vol.5
串本海中公園
[串本町]



海中展望塔近くの礁をよく見ると石化したサンゴがゴロゴロと打ち上げられている。



キャー〜!

まるで石のようなマンジュウヒトデも、手に持っているとは柔らかくなる。



水族館飼育体験

専門スタッフが水族館玄関バックヤードの見学に同行。海中生物に触れながら特徴や生態を詳しく解説してくれる。ヒトデやウミガメなど実際に触れる貴重な体験もおすすめ!



Geopark Sketch Walking

